

事務事業名		大宮小学校来客用駐車場整備事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業				
総合計画	政策名	豊かな人を育むまちづくり				所属課	学校教育課	担当	学校教育	
	施策名	教育環境の充実				課長名	小野崎 保男	担当者名	森田 洋行	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等		
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～	年度)
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要 大宮小学校は駐車場が狭く、体育館北側の空きスペースを職員駐車場としているほか、校舎西側/体育館南側部分をスクールバス駐車場及び下校時送迎者駐車場としている。 行事や集会の際、来客者の駐車は校庭南西部の主にソフトボール練習場部分となるが、雨天時などぬかるんだ状況では利用できないことから、周囲農道及び外周道路の路上駐車となるが、農業者や隣接するお寺・墓地の関係者などの通行に支障があり、クレームが絶えない。 こうした状況を解決するために外来者駐車場を整備する。敷地内には適地がないため、西側道路を挟んだ「自然の森」地約2,000㎡か、学校に隣接する農地を買収(又は借地)し整備する。 この整備には多額の費用が見込まれるため、長い間懸案事項となっていたが、建物の耐震化が終了した時点で最優先課題となる。町P連や学校関係者、大宮地区学区全体からの強い要望がある。</p> <p>2 概算事業費(※ランニングコストが掛かる事業については、概算で算定し記入すること) 用地買収費約300万円。整備費用3,000万円(測量設計費用300万円、工事費2,700万円)。</p>								

(1) 事務事業の目的と指標			
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	運動会や各種行事の際に来校する人のために駐車場を整備する。	④ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	名称
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	来校者の車置き場	⑤ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	名称
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのかを記載)	安心・安全に駐車できるようにする。	⑥ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	名称
		ア	整備面積
		イ	来場するお客さんが利用する車
		ア	駐車できた車の数
		イ	

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 実績値	㎡ ㎡	2,000				
	イ	目標値 実績値	0 0					
対象指標	ア	目標値 実績値	台 台	80				
	イ	目標値 実績値	0 0	80				
成果指標	ア	目標値 実績値	台 台					
	イ	目標値 実績値	0 0					

計画		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
投入費	事業内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	33,000			
		事業費計(A)	千円	0	33,000	0	0
人件費		正規職員従事人数	人	1			
		延べ業務時間	時間	50			
		人件費計(B)	千円	0	200	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	33,200	0	0	0

実績		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
投入費	事業内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円				
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0
人件費		正規職員従事人数	人				
		延べ業務時間	時間				
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町立学校の環境整備	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	長い間の懸案事項であり、校舎の耐震化が終わってから、検討することになっていた。H25で耐震化が終了する。	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	学校西側の林を整備するより、近隣の農地を買い上げ(借地)したほうが安価。	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	公立学校整備	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 25 年 11 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input checked="" type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等) ・町有財産を新たに増やすことは、将来的に望ましいことではない 【差し戻し理由】 ・場所の選定について、方向性が明確になっていないと思われるため、学校と担当課の考え方を統一後、再評価する

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業